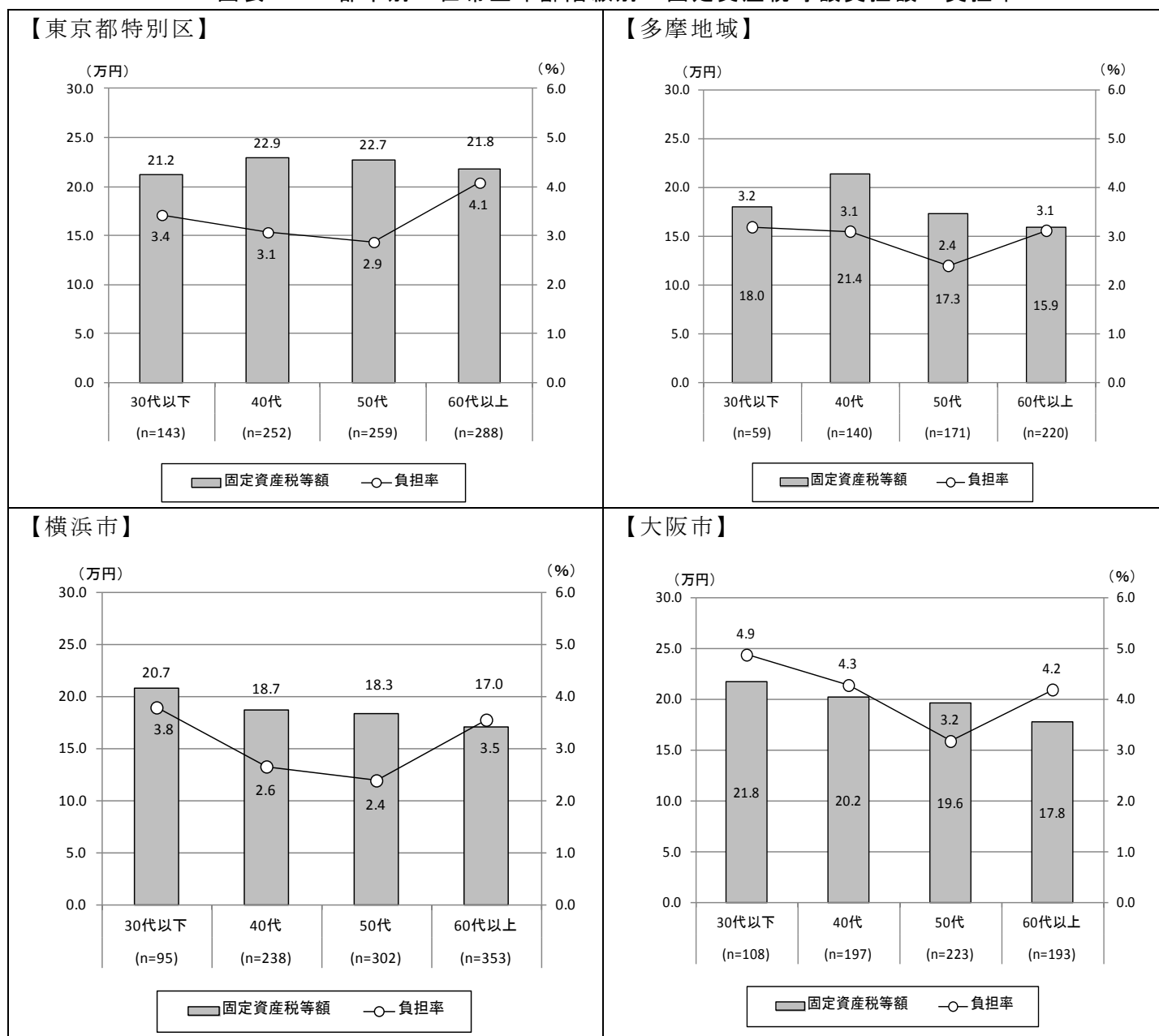


(2) 固定資産税等額負担

①-1) 固定資産税等額負担額・負担率〔年齢階級別〕

- ・固定資産税等額（土地・家屋計）は、特別区は年齢で差はなく、全年齢階級で 20 万円超である。他都市では、50 代以降は緩やかに低下し 20 万円以下である。
- ・多摩地域の負担額は、40 代を除き他都市よりもやや低い。
- ・収入額に対する負担率は、各都市とも 50 代で最も低く 60 代で反転する V 字型を描く。
- ・負担率では、大阪市が各年齢階級とも他都市よりもやや高いが、特別区も 50 代以降は大阪市とほぼ同水準の負担率となる。

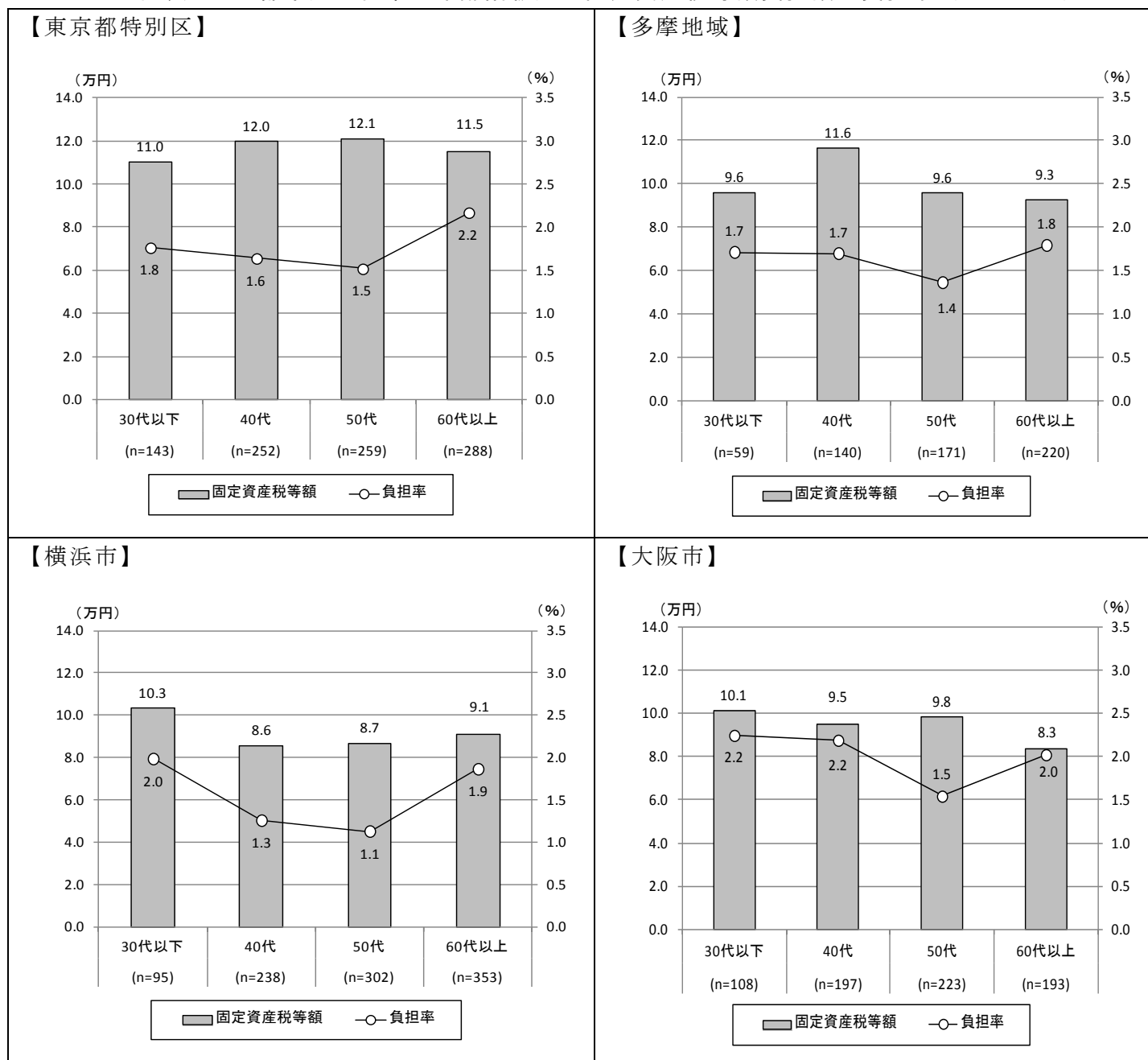
図表 II-2 都市別・世帯主年齢階級別・固定資産税等額負担額・負担率



①-2) 固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）〔年齢階級別〕

- ・土地の固定資産税等額は、特別区は年齢での差はなく、全年齢階級で10万円超である。他都市も年齢階級による大きな差はないが、負担額は8～9万円程度である。
- ・負担率は、各都市とも50代で最も低く60代で反転するV字型を描く。
- ・負担率では、大阪市が各年齢階級とも他都市よりもやや高く、50代を除き2%超である。

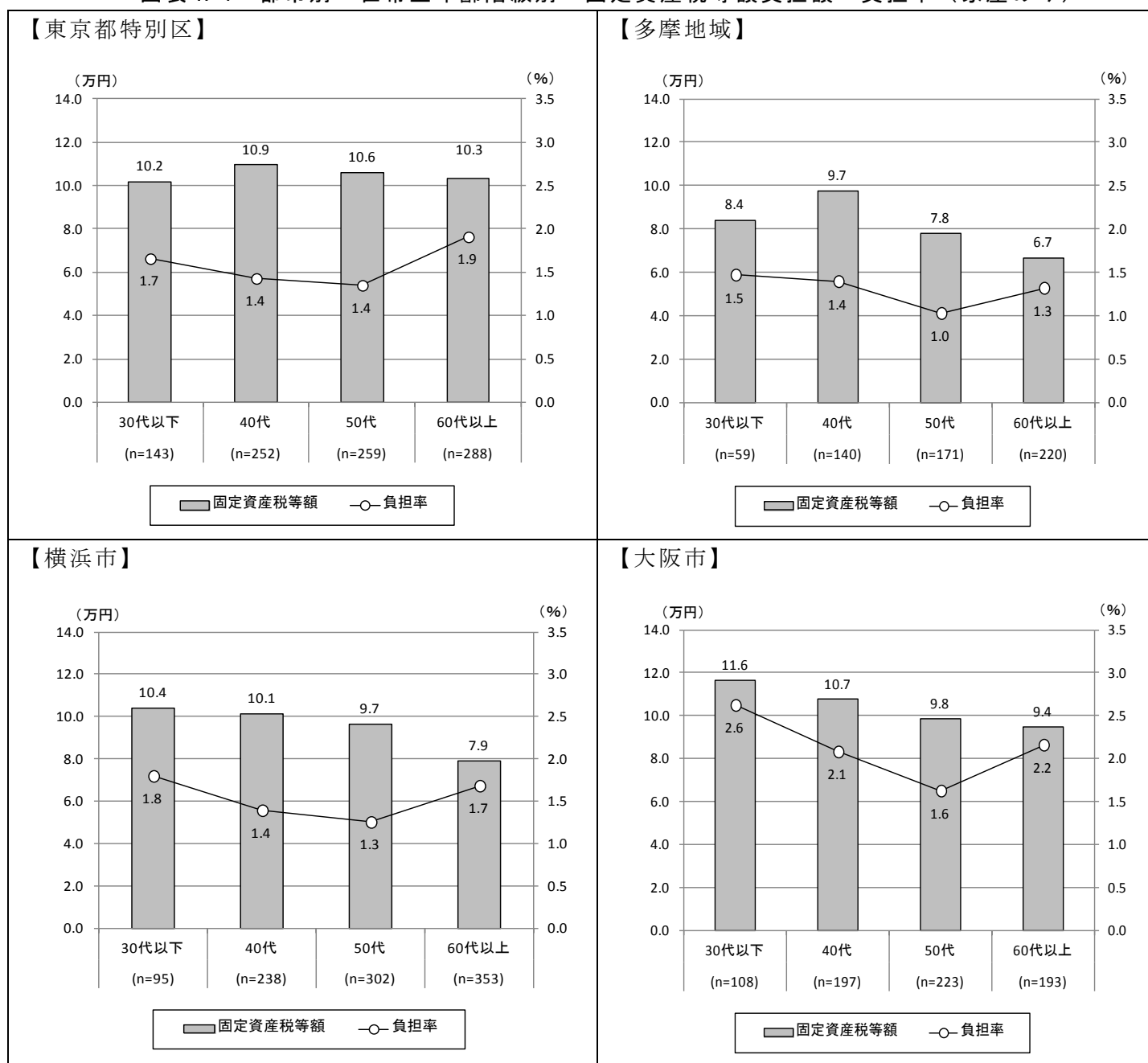
図表 II-3 都市別・世帯主年齢階級別・固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）



①-3) 固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）〔年齢階級別〕

- ・家屋の固定資産税等額は、特別区は年齢での差はなく、全年齢階級で10万円超である。他都市では、50代以降は緩やかに低下する。
- ・負担率は、各都市とも50代で最も低く60代で反転するV字型を描く。
- ・負担率では、大阪市が各年齢階級とも他都市よりもやや高く1%台半ばから2%強程度である。特別区は1%台半ばから1%台後半で大阪市に次いで高い。多摩地域は1%台前半から1%台半ば程度の負担率である。

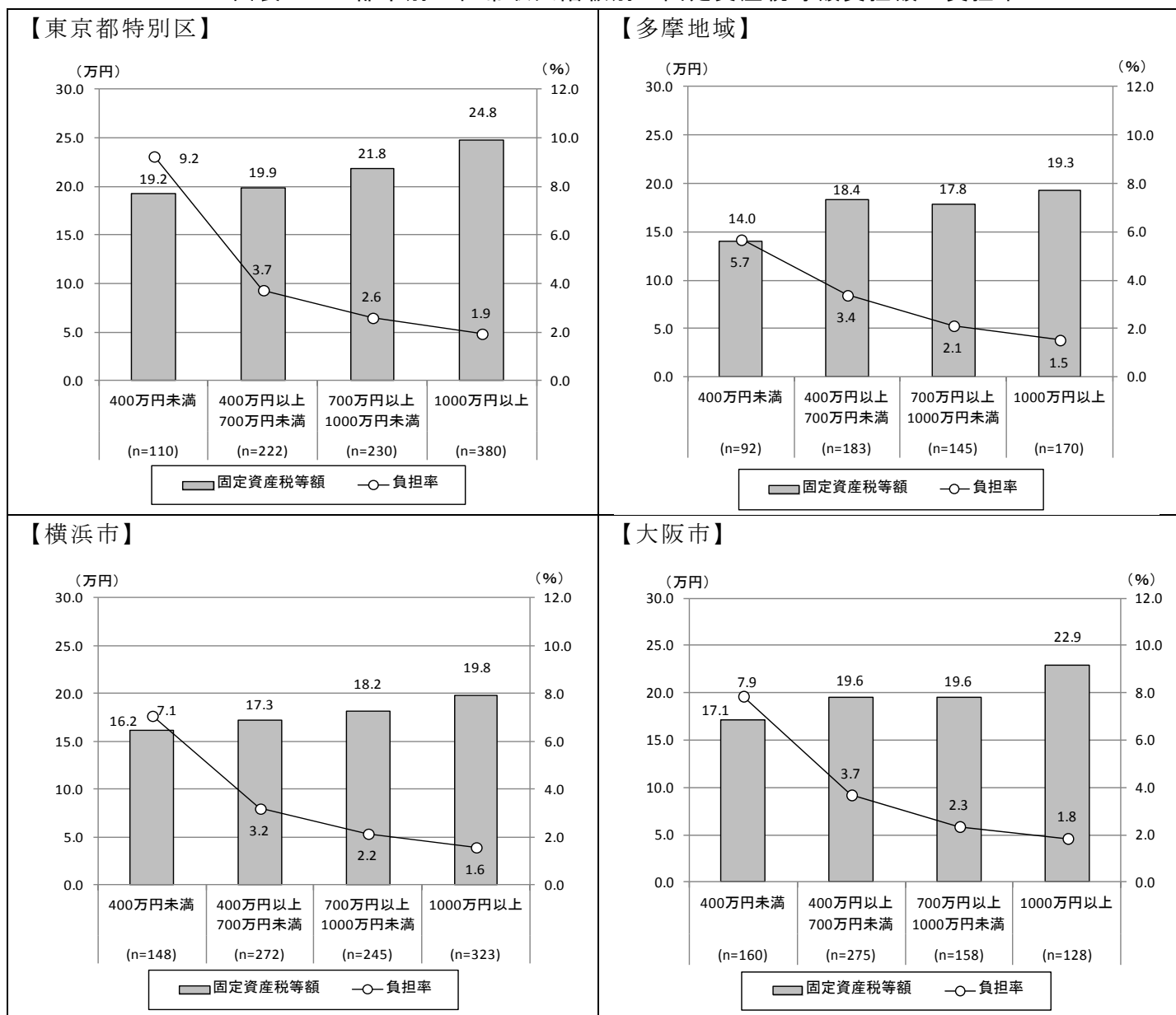
図表 II-4 都市別・世帯主年齢階級別・固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）



②-1) 固定資産税等額負担額・負担率〔収入階級別〕

- ・世帯収入階級別の固定資産税等額（土地・家屋計）は、各都市とも収入階級が高いほど負担額が高くなっている。
- ・また、特別区は、いずれの収入階級でも負担額がやや高い。
- ・負担率は、各都市とも収入階級に反比例しており、収入額が低い世帯ほど負担率は高い。特に特別区は400万円未満世帯では9%を超える負担率となっている。なお、400万円以上の収入世帯では、都市別での大きな違いは無い。

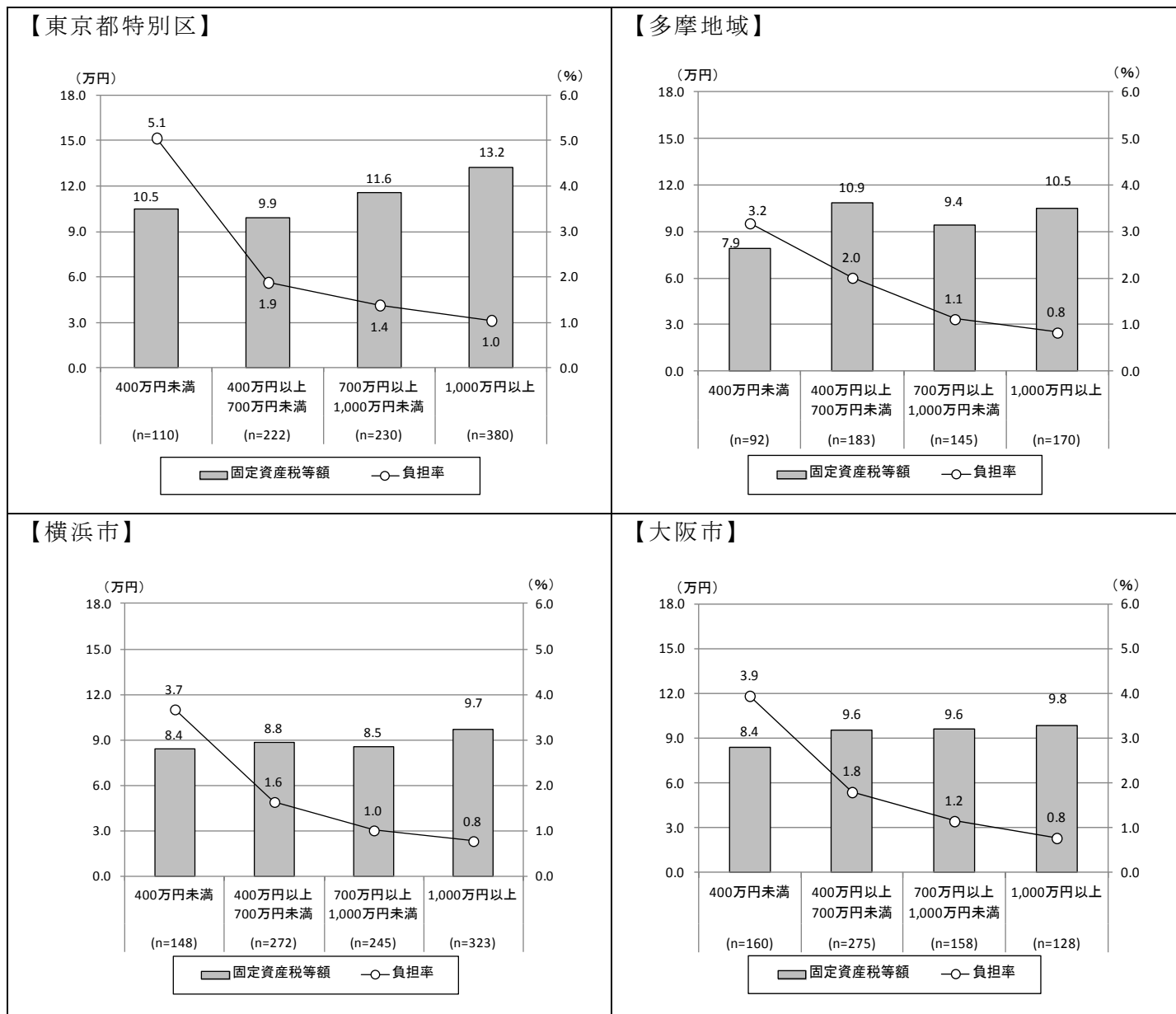
図表 II-5 都市別・世帯収入階級別・固定資産税等額負担額・負担率



②-2) 固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）〔収入階級別〕

- ・固定資産税等額（土地のみ）は、各都市とも収入階級が高いほど、概ね負担額も高くなる。
- ・特別区は、いずれの収入階級でも、他都市よりも2万円程度高い。
- ・負担率は、各都市とも収入階級に反比例しており、収入額が低い世帯ほど負担率は高い。

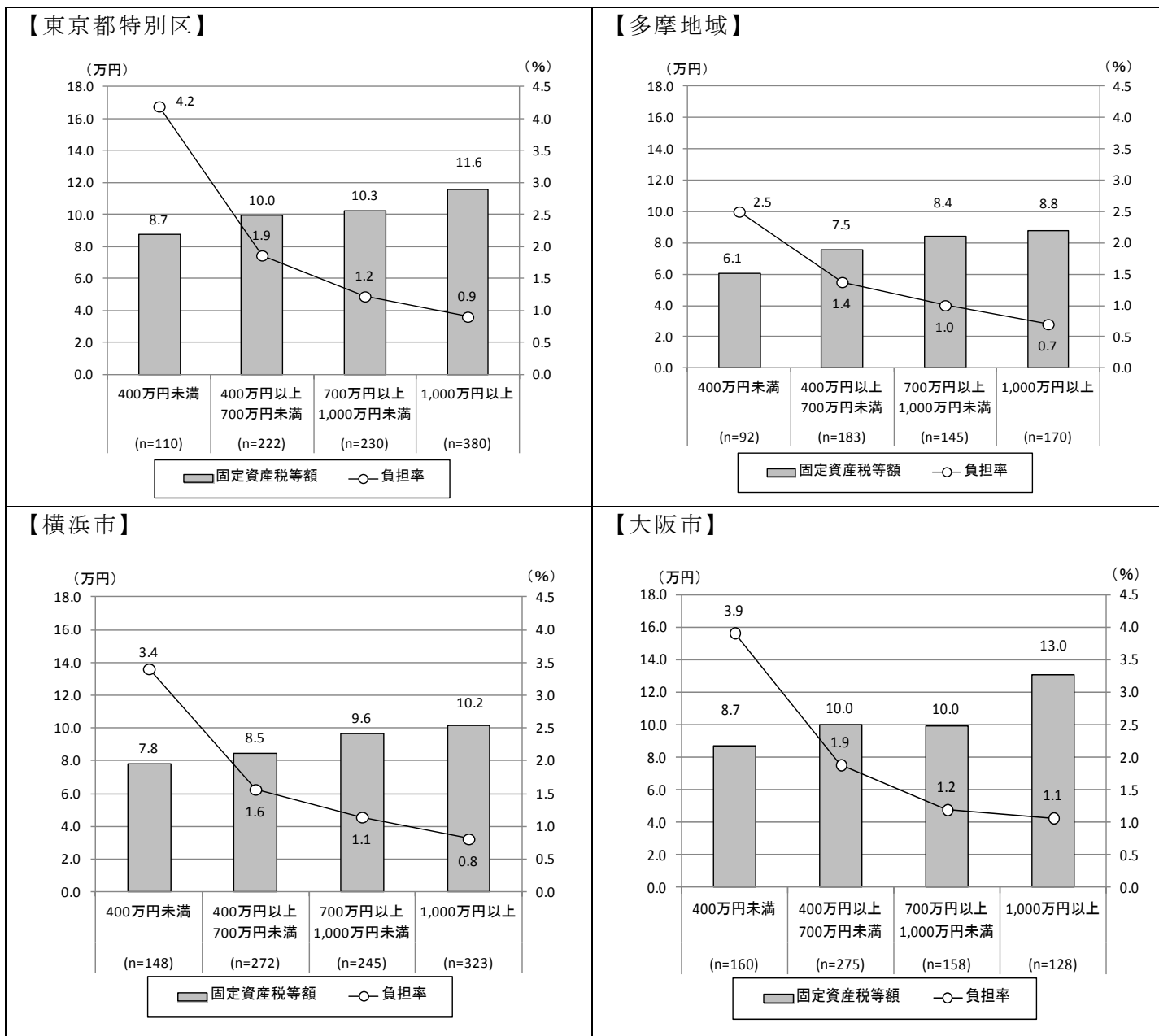
図表 II-6 都市別・世帯収入階級別・固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）



②-3) 固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）〔収入階級別〕

- ・固定資産税等額（家屋のみ）は、各都市とも収入階級が高いほど、概ね負担額も高くなる。
- ・特別区は、いずれの収入階級でも、他都市よりも2万円程度高い。
- ・負担率は、各都市とも収入階級に反比例しており、収入額が低い世帯ほど負担率は高い。

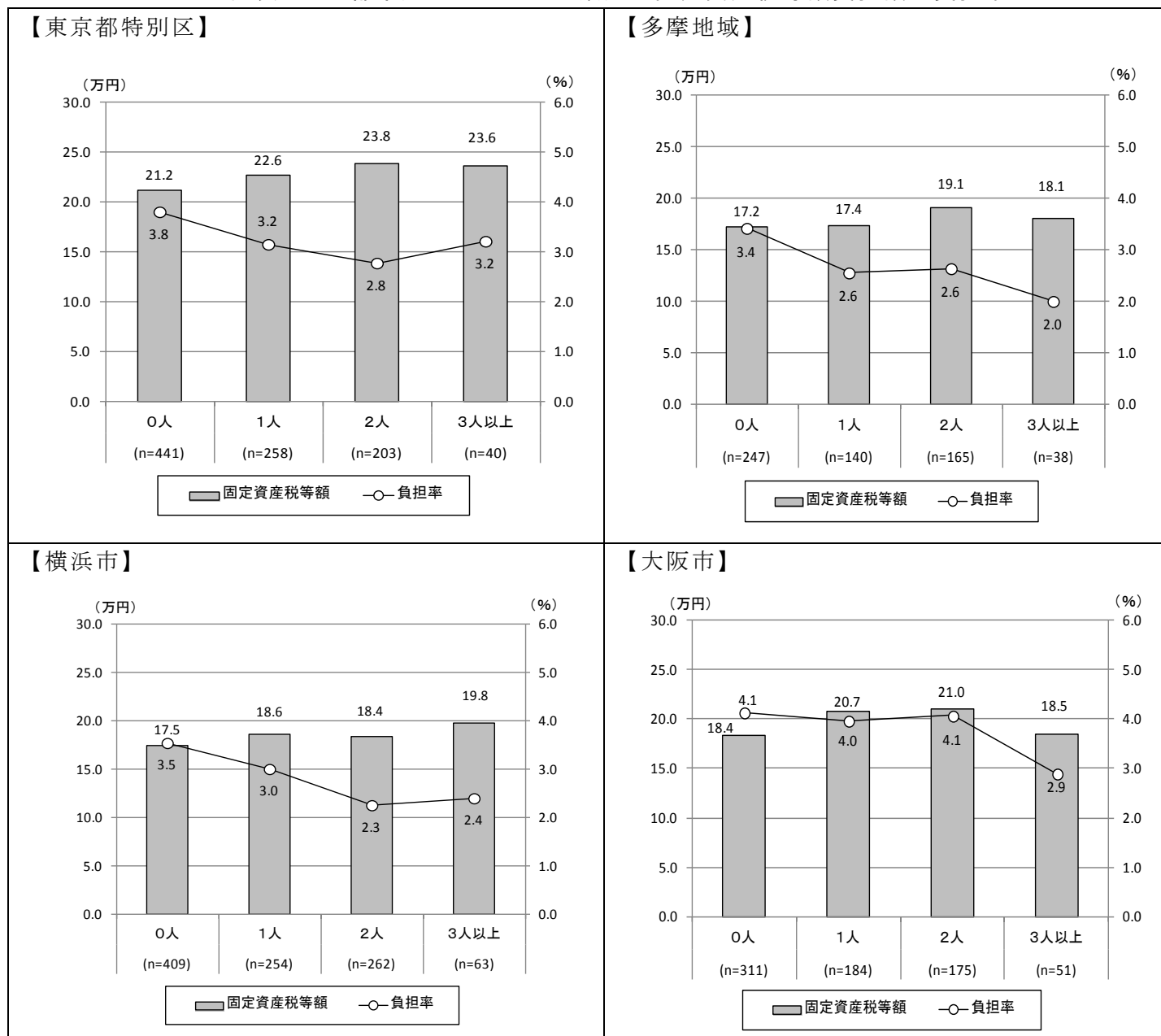
図表 II-7 都市別・世帯収入階級別・固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）



③-1) 固定資産税等額負担額・負担率〔子どもの人数別〕

- ・子どもの人数と固定資産税等額（土地・家屋計）の間には、各都市共通の明確な関係は見出せない。大阪市を除き、固定資産税等額の負担額は、子どもの人数が多いほど高い。
- ・子どもの人数に関わらず、特別区居住世帯の固定資産税等額の負担額が最も高い。
- ・負担率では、特別区と横浜市は、子どもの人数が3人以上になると負担率が上昇しているのに対して、多摩地域と大阪市では低下している。

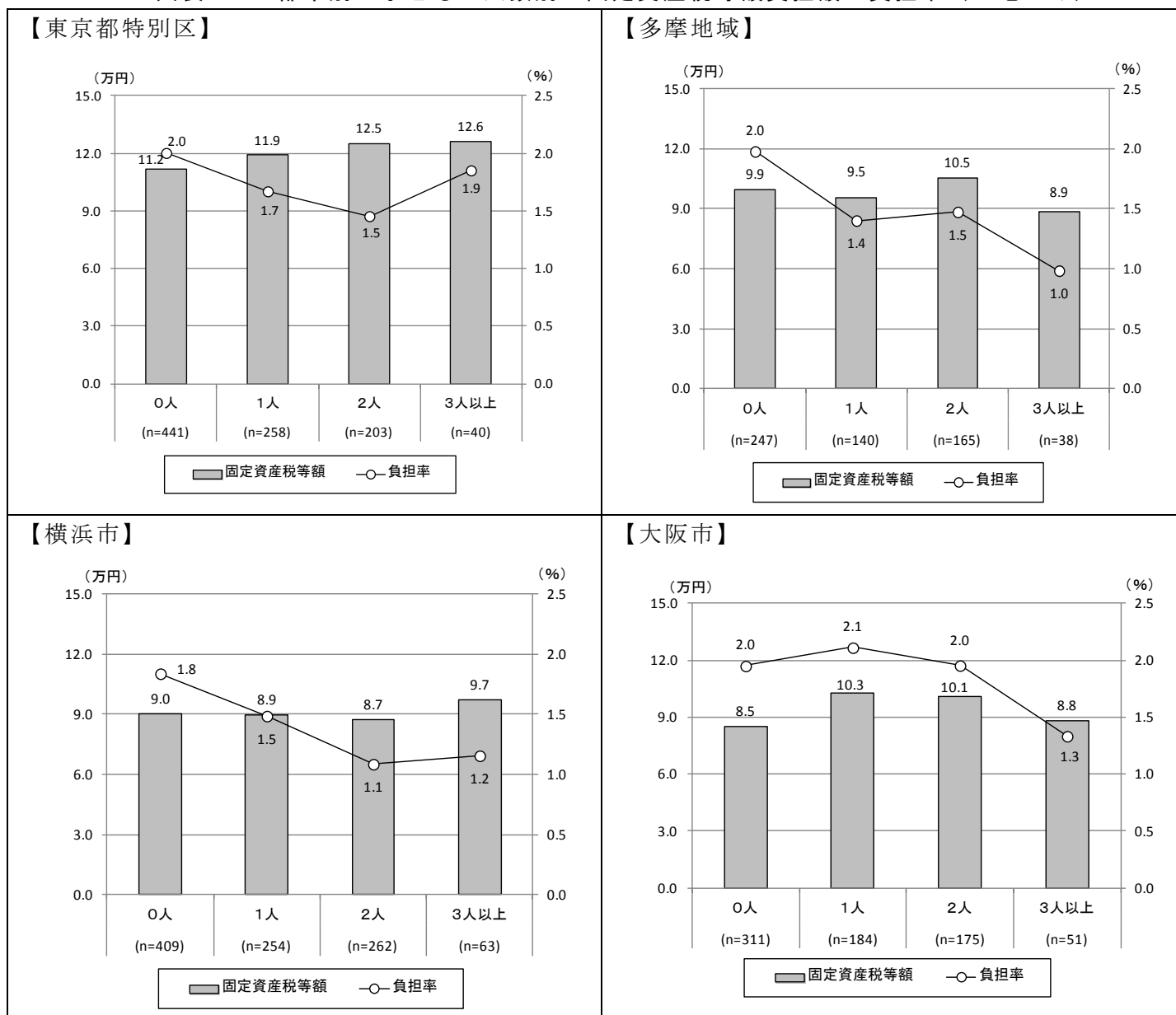
図表 II-8 都市別・子どもの人数別・固定資産税等額負担額・負担率



③-2) 固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）〔子どもの人数別〕

- ・子どもの人数と固定資産税等額（土地のみ）の間には、各都市共通の明確な関係は見出せない。固定資産税等額の負担額は、特別区では、子どもの人数が多いほど高くなっていくが、多摩地域と大阪市では子どもの人数が3人以上になると負担額が低下している。
- ・子どもの人数に関わらず、特別区居住世帯の固定資産税等額の負担額が最も高い。
- ・負担率では、特別区と横浜市は、子どもの人数が3人以上になると負担率が上昇しているのに対して、多摩地域と大阪市では低下している。

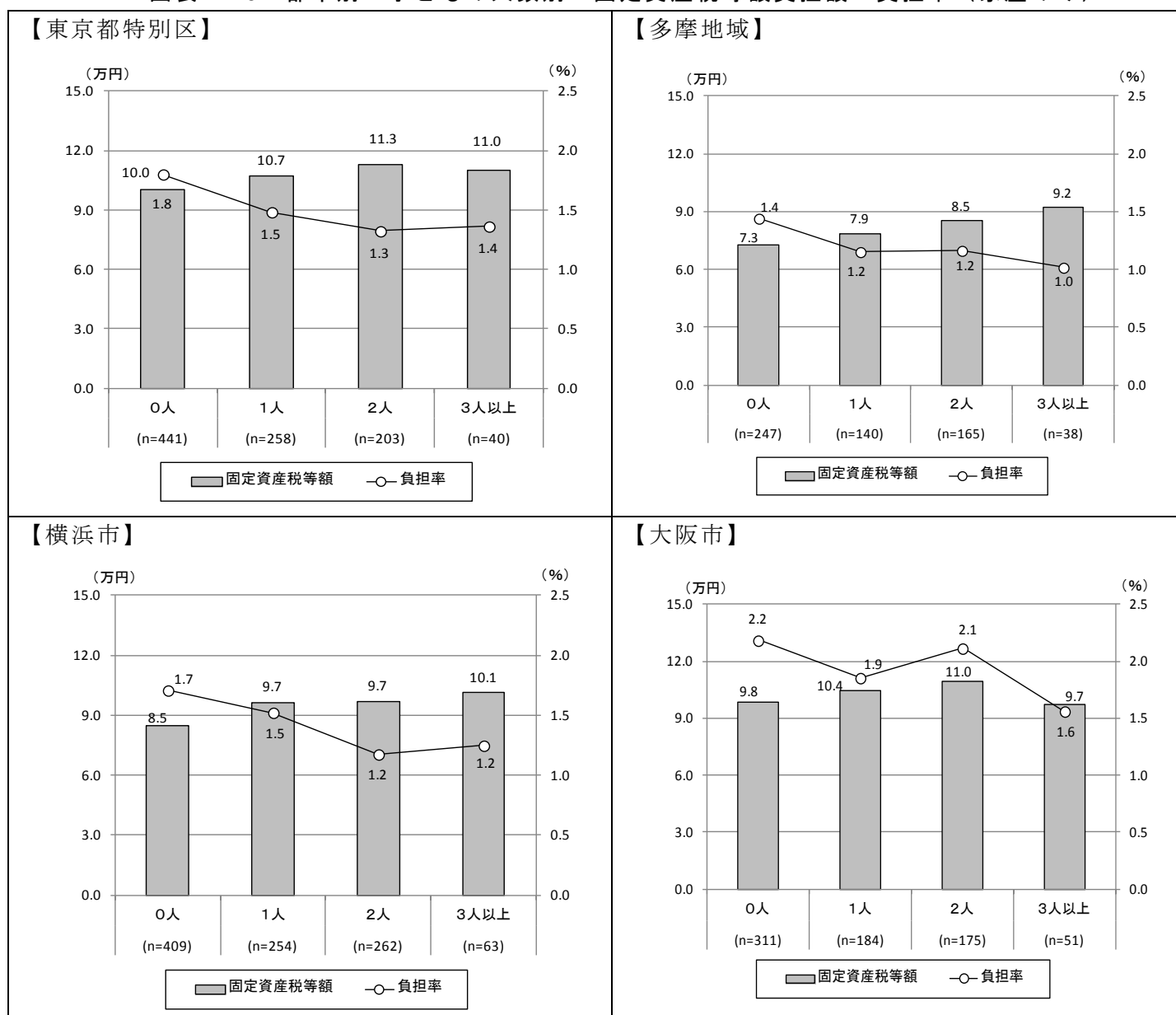
図表 II-9 都市別・子どもの人数別・固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）



③-3) 固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）〔子どもの人数別〕

- ・子どもの人数と固定資産税等額（家屋のみ）の間にも、各都市共通の明確な関係は見出せない。固定資産税等額の負担額は、多摩地域と横浜市では、子どもの人数が多いほど高くなっていくが、特別区と大阪市では子どもの人数が3人以上になると負担額が低下している。
- ・子どもの人数に関わらず、特別区の固定資産税等額の負担額が最も高い。
- ・負担率では、特別区と横浜市は、子どもの人数が3人以上になると負担率が上昇しているのに対して、多摩地域と大阪市では低下している。

図表 II-10 都市別・子どもの人数別・固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）

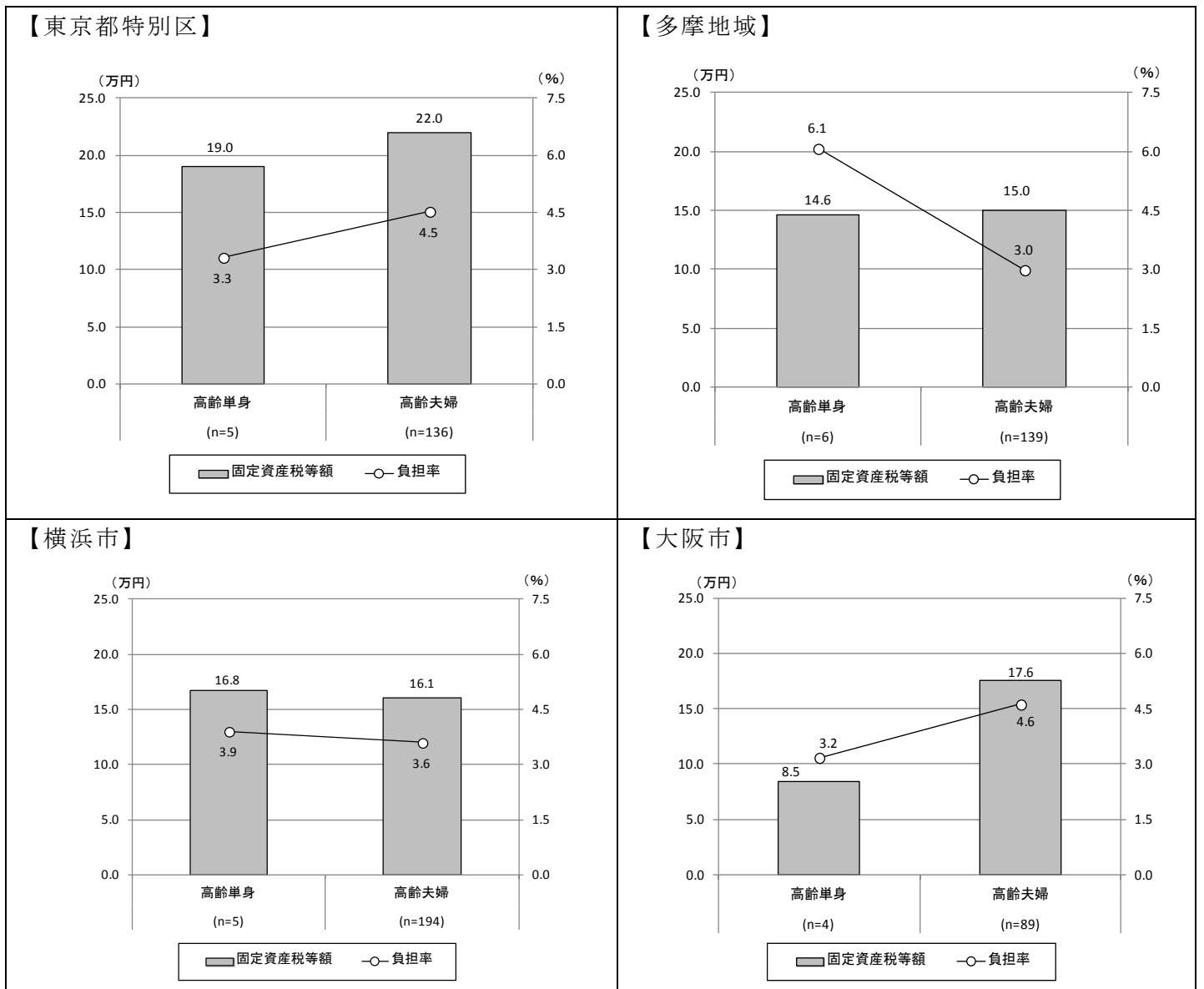


④-1) 固定資産税等額負担額・負担率〔高齢世帯別〕

- ・固定資産税等額（土地・家屋計）は、特別区と大阪市では、高齢単身世帯よりも高齢夫婦世帯の方が負担額が高い。多摩地域と横浜市では、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯ともに、負担額はほぼ同程度である。
- ・特別区の負担額は、他都市に比べ5万円程度高い。
- ・負担率では、特別区と大阪市は高齢夫婦世帯の方が高いが、多摩地域と横浜市では、高齢単身世帯の方が高い。

※ 各都市とも高齢単身世帯の回答が少ないため、分析結果の解釈には留意が必要。

図表 II-11 都市別・高齢世帯別・固定資産税等額負担額・負担率

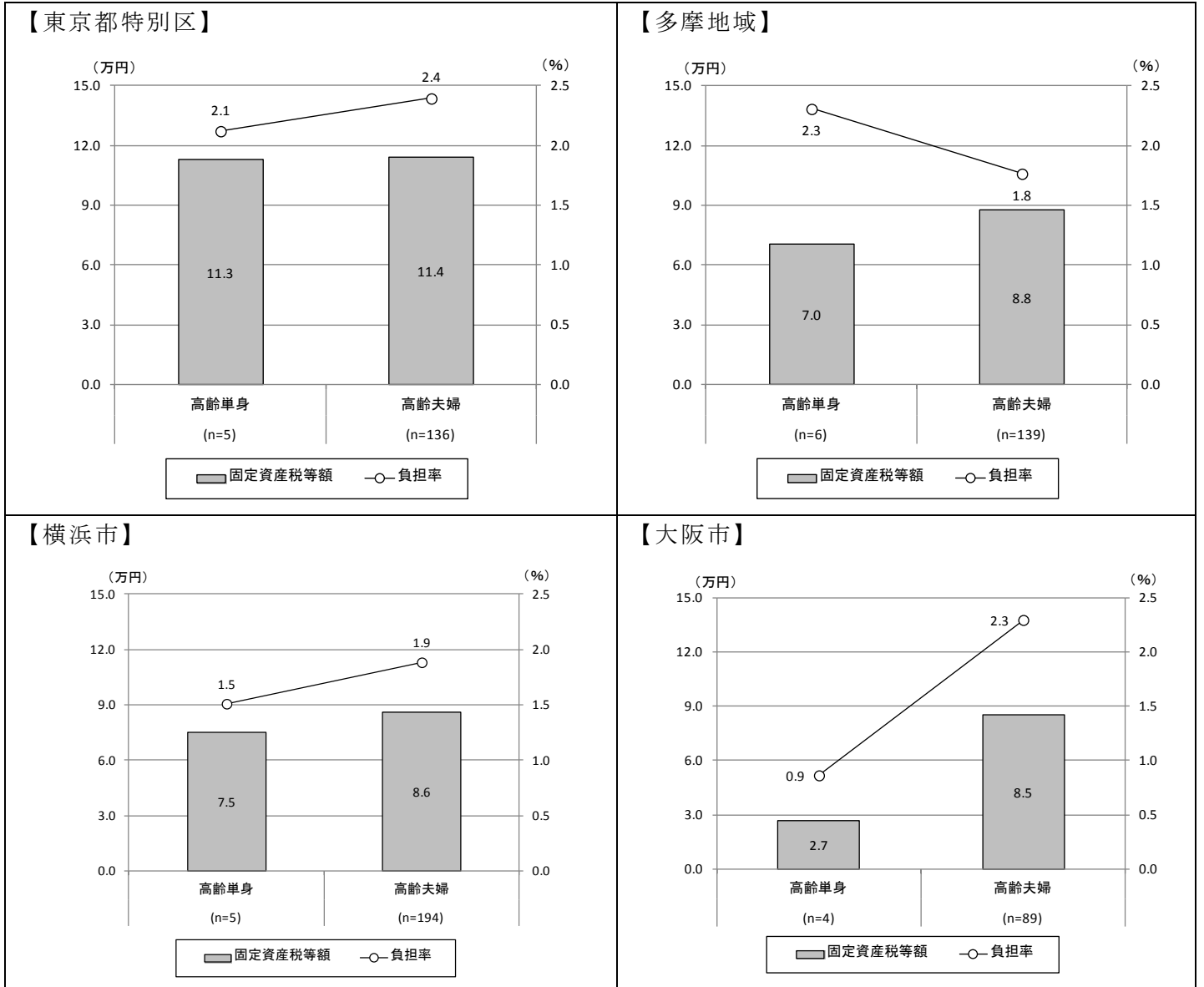


④-2) 固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）〔高齢世帯別〕

- ・固定資産税等額（土地のみ）は、高齢単身世帯よりも高齢夫婦世帯の方が負担額が高い。
- ・特別区の負担額は、他都市に比べ4万円程度高い。
- ・負担率では、多摩地域を除き、高齢夫婦世帯の方が高い。

※ 各都市とも高齢単身世帯の回答が少ないため、分析結果の解釈には留意が必要。

図表 II-12 都市別・高齢世帯別・固定資産税等額負担額・負担率（土地のみ）

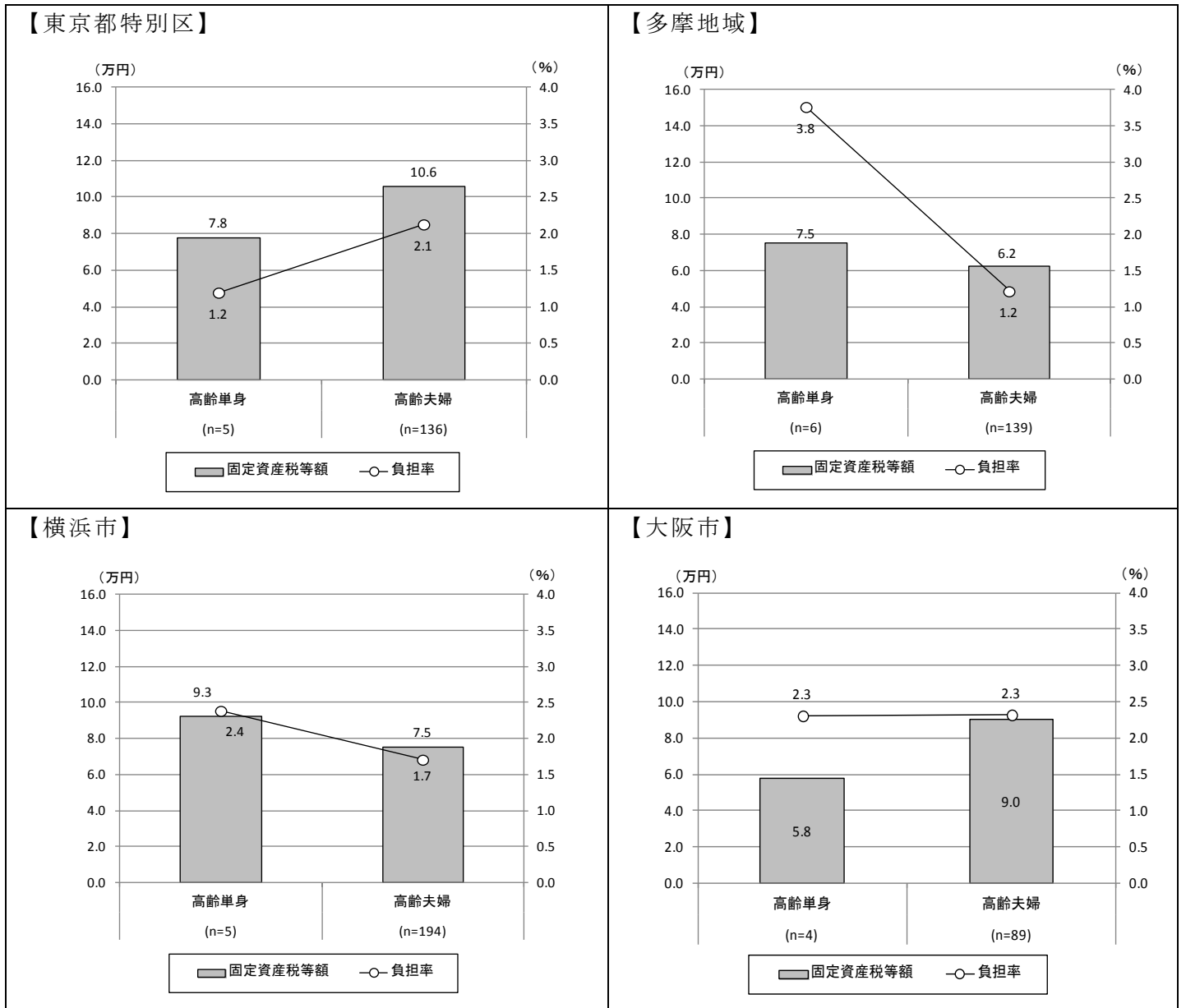


④-3) 固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）〔高齢世帯別〕

- ・固定資産税等額（家屋のみ）の負担額は、特別区と大阪市では、高齢単身世帯よりも高齢夫婦世帯の方が高いが、多摩地域と横浜市では、高齢単身世帯の方が高い。
- ・高齢夫婦世帯の負担額で見ると、特別区と大阪市は、多摩地域や横浜市に比べて高い。
- ・高齢夫婦世帯の負担率で見ても、特別区と大阪市は、多摩地域や横浜市に比べて高い。

※ 各都市とも高齢単身世帯の回答が少ないため、分析結果の解釈には留意が必要。

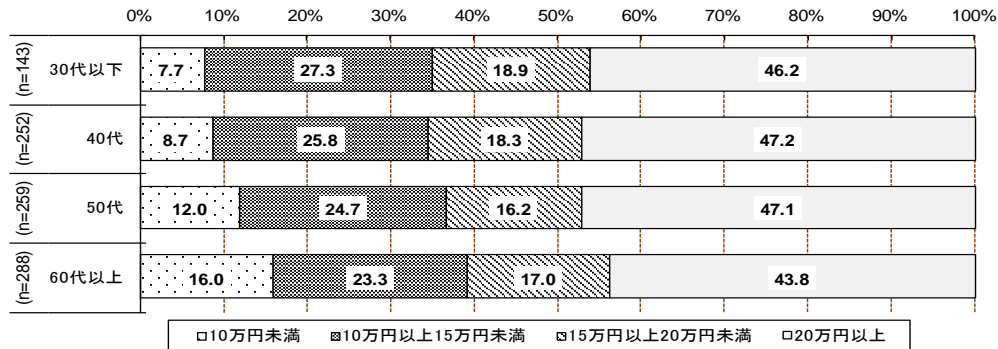
図表 II-13 都市別・高齢世帯別・固定資産税等額負担額・負担率（家屋のみ）



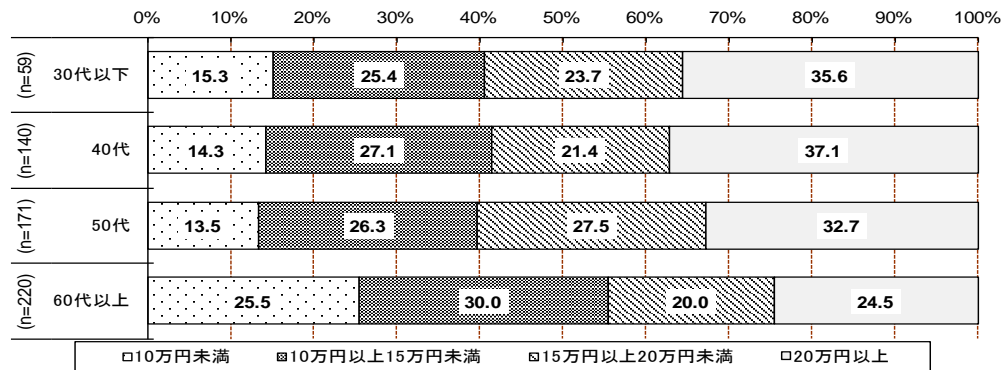
⑤-1) 固定資産税等額構成比〔年齢階級別〕

- ・特別区は、いずれの年齢階級でも、他都市に比べて固定資産税等額の負担額の高い世帯の割合が多い。
- ・特に、10万円未満の割合が低く、20万円以上の割合が高くなっている。

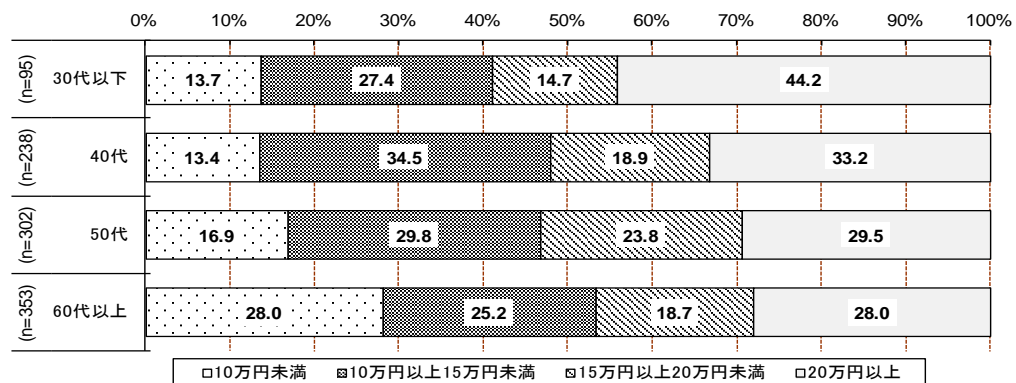
図表 II-14 都市別・世帯主年齢階級別・固定資産税等額負担額構成比
【東京都特別区】



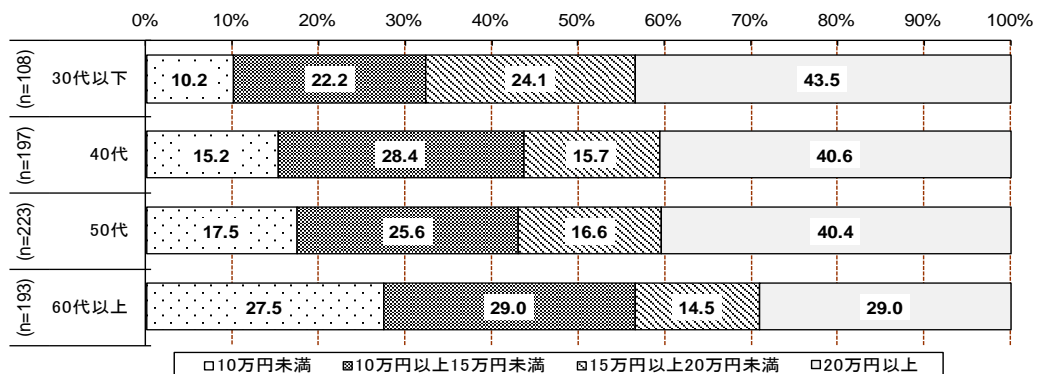
【多摩地域】



【横浜市】



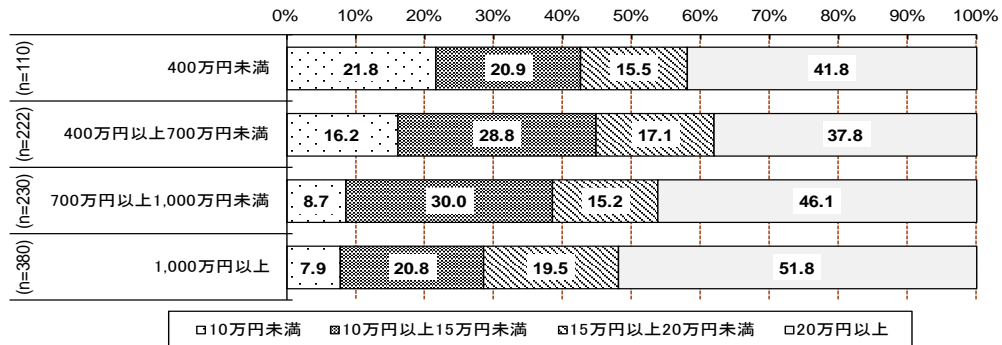
【大阪市】



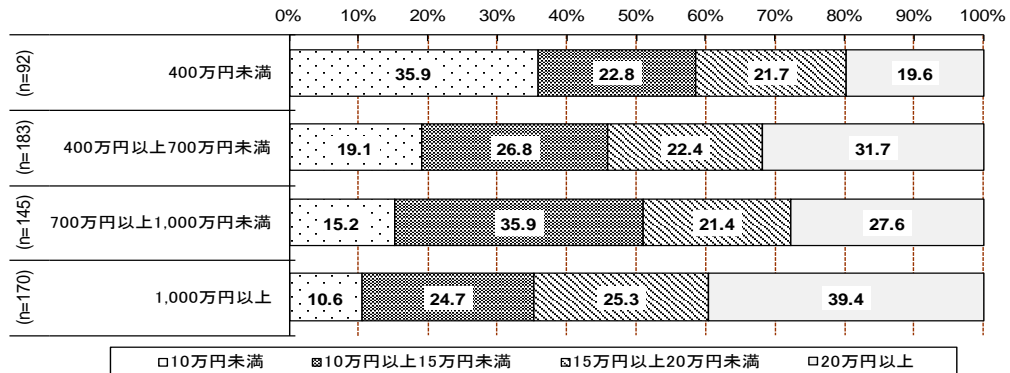
⑤-2) 固定資産税等額構成比〔収入階級別〕

- ・特別区は、いずれの収入階級でも、他都市に比べて固定資産税等額の負担額の高い世帯の割合が多い。
- ・特に、10万円未満の割合が低く、20万円以上の割合が高くなっている。

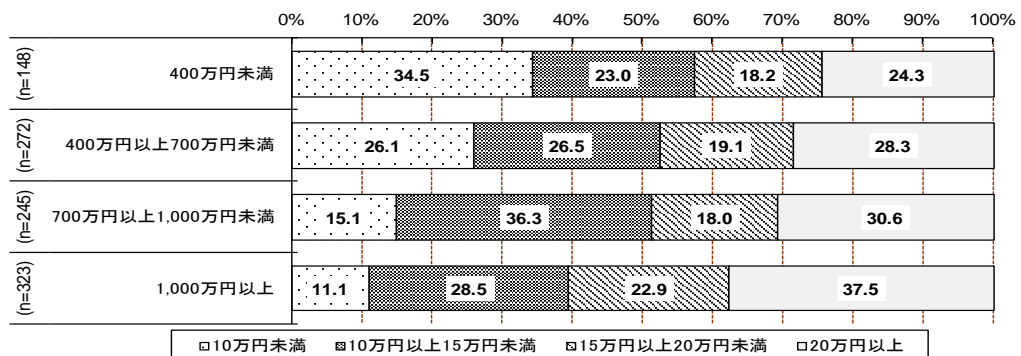
図表 II-15 都市別・世帯収入階級別・固定資産税等額負担額構成比
【東京都特別区】



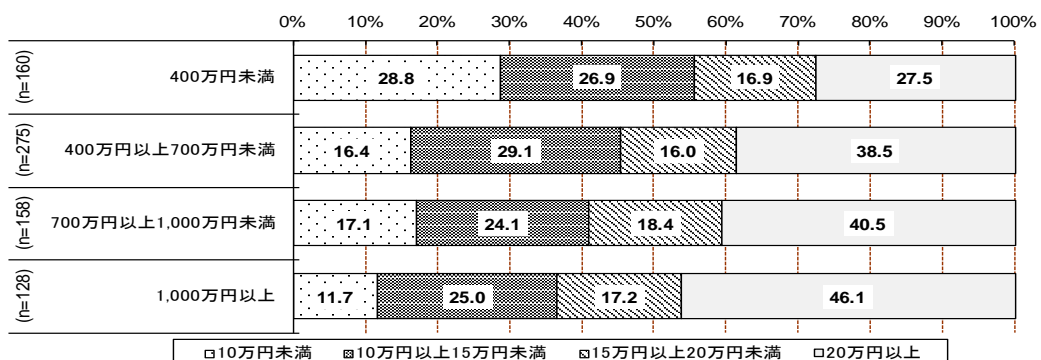
【多摩地域】



【横浜市】



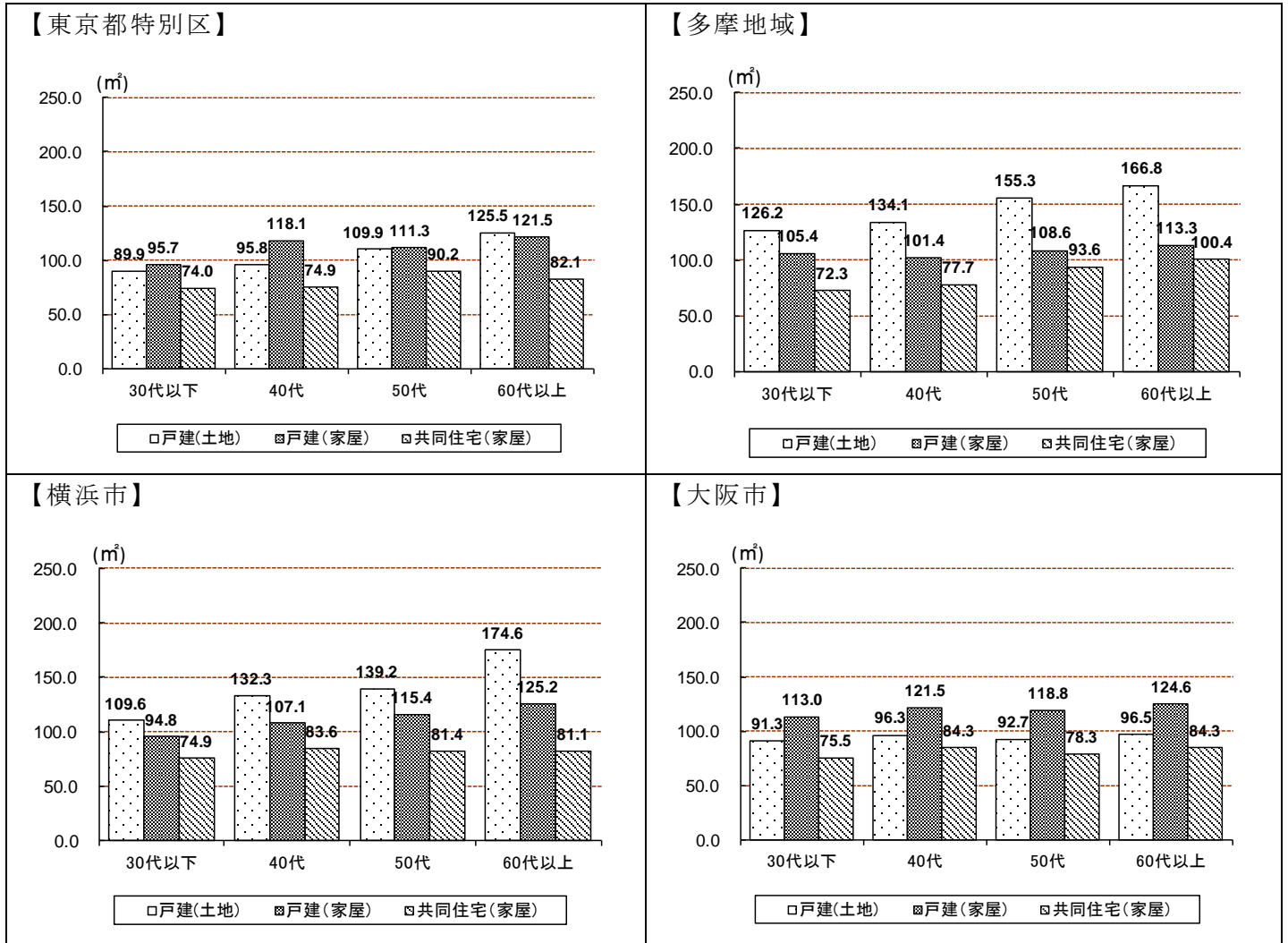
【大阪市】



⑥-1) 平均地積・平均床面積〔年齢階級別〕

- ・特別区の戸建（土地）の地積は大阪市に次いで狭いが、共同住宅（家屋）の床面積は、他都市とほぼ同程度の広さとなっている。
- ・各都市とも概ね、50代と60代以上は、30代以下、40代に比べ、若干広い地積、床面積の住宅に居住している。

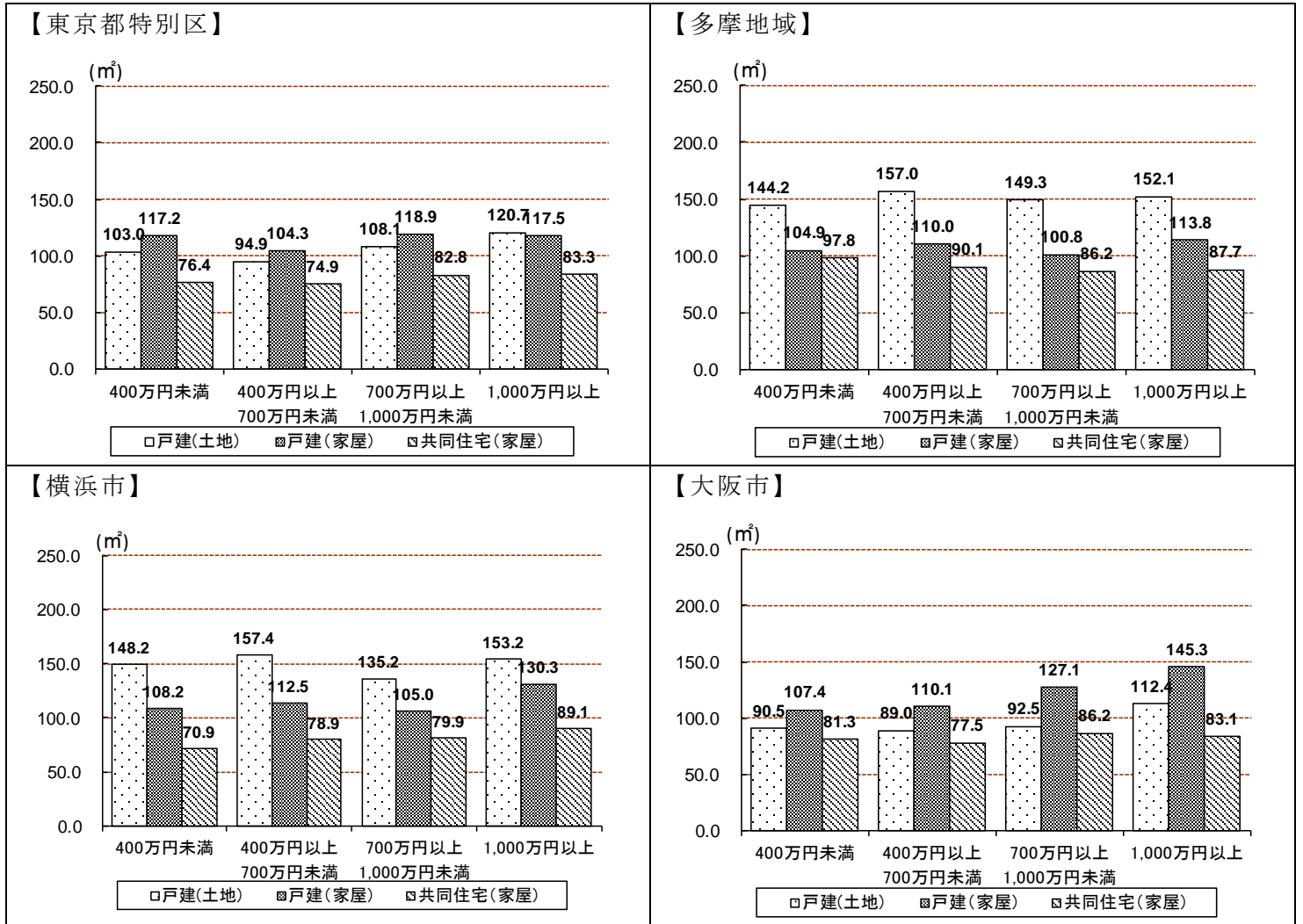
図表 II-16 都市別・世帯主年齢階級別・1戸当たり平均地積・平均床面積



⑥-2) 平均地積・平均床面積〔収入階級別〕

- ・特別区の戸建（土地）の地積は大阪市に次いで狭いが、共同住宅（家屋）の床面積は、他都市とほぼ同程度の広さとなっている。
- ・大阪市の戸建住宅（土地の地積及び家屋の床面積）を除き、土地の地積及び家屋の床面積とも収入階級との関連性は見られない。

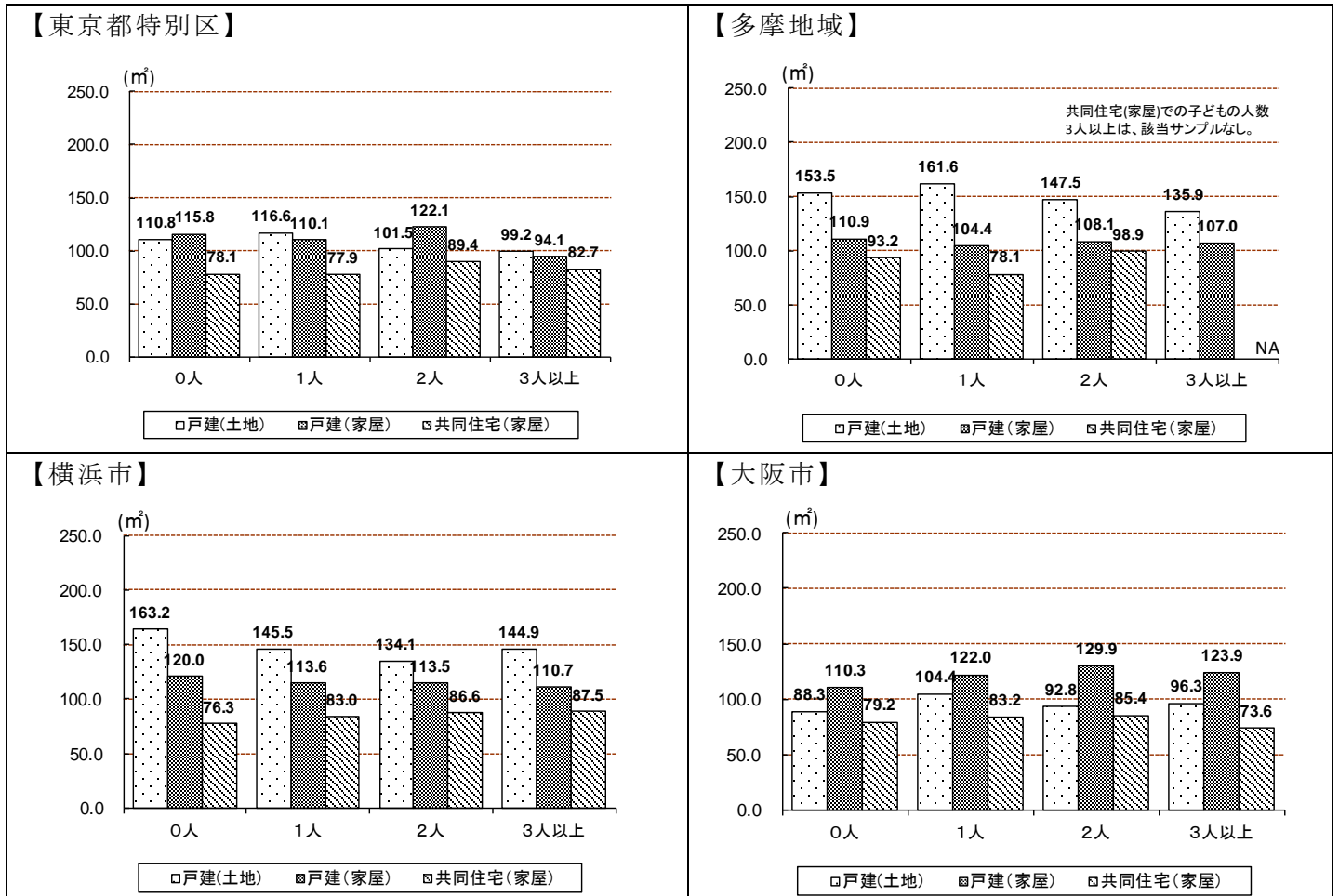
図表 II-17 都市別・世帯収入階級別・1戸当たり平均地積・平均床面積



⑥-3) 平均地積・平均床面積〔子どもの人数別〕

- ・特別区は、子どもの人数が何人であっても、多摩地域や横浜市よりも戸建（土地）の地積が狭い。
- ・各都市とも、子どもの人数が増えても、家屋の床面積は、特に増加していない。

図表 II-18 都市別・子どもの人数別・1戸当たり平均地積・平均床面積



⑥-4) 平均地積・平均床面積〔高齢世帯別〕

- ・特別区及び多摩地域は、横浜市及び大阪市と異なり、必ずしも高齢夫婦世帯が高齢単身世帯よりも広い住宅に居住しているとはいえない。
- ・共同住宅（家屋）の床面積は、各都市とも高齢夫婦世帯の方が広い。

※ 各都市とも高齢単身世帯の回答が少ないため、分析結果の解釈には留意が必要。

図表 II-19 都市別・高齢世帯別・1戸当たり平均地積・平均床面積

